

(2) 特色ある教育活動

ア生活科・総合的な学習の時間を中心に「つながり」「かかわり」をキーワードとした体験活動を通して、「環境」「命と人権」「伝統文化」「地域」の4つの柱でESDを推進する。

- ・地域の方や外部講師、地域と関係の深い学習素材とのつながり、かかわりによる発展学習によって、多面的、総合的に考える力を身に付けさせる。

**【環境】**

- ・清明林や、下宿ビオトープ公園の観察学習、柳瀬川体験学習等、地域の豊かな自然を活用した環境学習や、佐渡島の時の環境保全・再生学習で自然環境を守るためにできることを考え自らの生活や行動に生かす力を育成する。

**【命と人権】**

- ・人権課題「高齢者」において「認知症サポーター養成講座」やディサービス「なないろ」「清雅苑との交流を通し、共に助け合って生きようとする態度を育む。
- ・人権課題「障害者」において、「きらり教室出前授業」や「車いす体験」、また、人権課題「性的指向」においては「LGBTQの学習」を通し、共に理解し合って生きようとする態度を育む。
- ・命の学習として「赤ちゃんプロジェクト」「食育」を通し、自他の命を大切にする主体的な態度を育む。

**【伝統文化】**

- ・「下宿囃子」、「ふせぎ行事」について、下宿囃子保存会や清瀬下宿ふせぎ保存会の方々から話を聞いたり、体験したりすることを通し、伝統文化を受け継ぎ、地域に守り育ててもらっている自覚や地域愛を育む。

**【地域】**

- ・学校支援本部、清瀬市コミュニティハウス NPO 法人きよせラボと協働し、地域人材の活用、地域との連携を行う。
- ・清瀬の歴史を知り、郷土愛を育む学習を充実させ、教育力の向上を図る。

イ基礎基本の充実を図る。

**【パワーアップタイムの充実】**

- ・算数の補習学習「パワーアップタイム」を年間14～17単位時間設定する。習熟度別に6つのクラスに分け、算数の基礎的・基本的な学習内容の定着を図る。

**【読書活動の充実】**

- ・学校図書館支援員を全学級隔週で図書時間に配置し、読み聞かせ、アニメーション、ブックトーク、ビブリオバトルを実施し、読書活動の充実を図り、豊かな心を育む。
- ・各教科で、図書資料を活用し必要な資料を収集・選択する学習を行い、主体的に課題を探究する力及び生涯学習の基礎を育む。

**【書く力の伸長】**

- ・全校で計画的に、月1回の朝学習、国語科における作文指導、授業後の振り返りを書くことを日常的に取り組みさせることを通して自分の考えを書く力の伸長を図る。